

科目名	憲法（統治）B Constitutional Law (Government) B						
科目担当者	青木 誠弘 AOKI Nobuhiro						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>憲法に限ったことではないが、人の世の中で実際に法として規定されている規則は、どのような規則があれば理想的な社会を作れるのかを知らずにいる人類が、様々な課題と直面しながら、試行錯誤をして練り上げてきたものであり、現在でもなお課題を残しているものである。国の統治のメカニズムを定めている規則もまた、その例に漏れない。</p> <p>この授業では、日本という国について統治のメカニズムを定めている日本国憲法4章以下について、以上の観点から学習する。</p>						
授業の到達目標	<p>①基本的な概念や用語を理解し、その説明ができるようになること。</p> <p>②見解の対立がある事項について、問題の所在や既存の学説の内容を理解すること。</p> <p>③憲法上の制度やその実際の運用について、何故そのようになっているのかを理解し、説明できるようになること。</p> <p>④以上のことについて、自ら疑問点を見つけ、考察できるようになること。</p>						
授業計画・内容	1	イントロダクション					
	2	国会①代表民主制					
	3	国会②選挙制度・政党・国会の地位と性格					
	4	国会③憲法41条・二院制・議院の組織					
	5	国会④国会議員の地位・国会の開閉・会議の原則					
	6	国会⑤国会の権能・議院の権能					
	7	内閣①内閣の地位と性格・内閣の組織					
	8	内閣②内閣総辞職・内閣の権限・責任					
	9	裁判所①裁判所の地位と性格、司法権の範囲と限界					
	10	裁判所②司法権の独立					
	11	裁判所③違憲審査制と憲法訴訟					
	12	財政					
	13	地方自治					
	14	憲法改正と憲法保障					
	15	全体のまとめ					
授業外学修 (事前学修)	・毎週、事前に配布資料がアップロードされている場合、読んでおくこと（1時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	<p>・配布資料や教科書の該当箇所を読み返すこと（1時間程度）。</p> <p>・授業に現れた論点に対して、自分なりの考察を加えること（2時間程度）。</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法			成績評価方法		成績評価方法	
	・期末試験			100%		①、②、③、④	
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	<p>君塚正臣『大学生のための憲法』法律文化社</p> <p>※六法を必ず用意すること。有斐閣のポケット六法や判例六法等、小さいもので構わない。</p>						
参考文献	授業中に提示する。						
その他	<p>初回の授業時に出席等のルールの詳細について伝えるので、必ず出席すること。</p> <p>3分の2以上の出席が成績評価の前提条件となるので、注意すること。また、出欠の確認時に教室にいなかった者や確認後に教室から抜け出した者は欠席となるので、注意すること。</p>						